

**CONTENTS**

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員動静
- 学会関連カレンダー
- 日本農薬学会第46回大会の案内（追加）
- 残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ
改訂4版2018出版のご案内

令和2年度 第2回常任評議員会議事録

日時：令和2年9月12日(土) 12:00～15:15

方法：Web会議

出席者：出席者15名（含第46回大会組織委員会大会委員長，実行委員長），欠席者2名

議事：

- I. 令和2年度第1回常任評議員会議事録の確認
- II. 経過報告および議案

1. 財務関係

- ・収支予算管理報告（令和2年1月1日から8月31日まで）があった。
- ・会費値上げのシミュレーションについて報告があった。
- ・中間外部監査（令和2年8月4日）により、運営、予算管理に大きな問題がなかったことが確認された。

2. 編集委員会

- ・活動報告（論文賞候補の推薦，JPSの冊子体廃止に伴う体裁変更，投稿規定変更）があった。

3. 学術・技術支援委員会

- ・活動報告（残留分析セミナー中止，Webを利用した活動）があった。

4. 農薬科学研究奨励金

- ・選考内規改定案（二次審査）を承認した。
- ・評価基準，要項を確認した。

5. 学会賞受賞者選考委員会について報告があった。
6. 次期評議員候補者の選定について報告があった。
7. 次期常任評議員について議論した。
8. 顧問・名誉会員・終身会員の推薦について議論した。
9. 弔意内規を現状に合わせて改定した。
10. 学術小集会予算の変更について，開催延期，Web開催等への予定変更を反映し，承認した。
11. 農薬環境科学研究会委員長の任期延長について議論した。
12. JPSオンライン化に伴い，維持会員，団体会員，購読会員に対してのみ冊子体を送付することを承認した。
13. 日本植物防疫協会への業務委託について，支援要領，業務委託契約書，仕様書を承認した。
14. 技術士育成推進委員会について報告があった。
15. 昆虫科学連合の活動について報告があった。
16. 一般社団法人日本農学会のシンポジウム開催，企業スポンサー推薦協力について報告があった。
17. 入退会の報告
 - ・正会員2名の入会が承認された。
18. 第46回大会関係
 - ・開催方法（通常の対面開催，オンライン開催，対面／オンライン開催）について協議した。
 - ・広告・展示・ランチョンセミナーについて報告があった。
 - ・シンポジウム開催について報告があった。
 - ・要旨集のPDF配布について提案があった。
 - ・会費，予算について報告があった。
19. その他
 - ・会費請求をメールで案内することについて承認した。
 - ・第4回常評（1/30開催予定）日程の変更について協議した。

令和2年度 第2回選挙管理委員会議事録

日時：令和2年9月23日(水)～25日(金)

方法：メール会議

出席者：出席者6名（含常任評議員総務担当2名）

議事：

1. 評議員候補者名簿を元に、資格審査を行った。
2. 今後の予定の確認を行った。

令和2年度 第3回選挙管理委員会議事録

日 時：令和2年11月13日(金) 10:00～10:30

方 法：Web会議

出席者：出席者6名（含常任評議員総務担当2名）

議事：

1. 役員選挙に係わる「会則」、「細則」、「規定」および「内規」等を確認した。
日本農薬学会役員選出規定第10条の改定（会長、副会長、監事への投票が過半数に届かなかった場合は再投票）が緊急を要する事項として細則第17条に基づき令和2年度第1回常任評議員会で承認され、後日評議員会での承認を求めることが確認された。
2. 開票作業の手順を説明した。
3. 開票を行い、会長1名、副会長1名、監事2名、評議員70名を決定した。
4. 今後の日程の確認を行った。

令和2年度 第2回将来計画委員会議事録

日 時：令和2年10月12日(月)～30日(金)

方 法：メール会議

議事：

会員数の減少、財務状況など現状を解析するとともに、新型コロナウイルス感染拡大と予防の状況を考慮した対応策を検討した。研究会・シンポジウムのオンライン開催や過去のアーカイブやコンテンツの提供など新しい活動による新規会員の獲得と収入増、収入に見合った事業や会員へのサービスの説明、学会運営への会員の意見の反映、学会誌や大会での国際化、農薬に関する情報提供をより充実させる社会的ミッション等について議論した意見について取りまとめた答申を常任評議員会へ提出した。

令和2年度 第2回学術・技術支援委員会議事録

日 時：令和2年12月19日(土)（出席15名、欠席1名）

方 法：Web会議

議事：

学術・技術支援委員会が取り組んでいる以下の各活動に関して今年度の活動を総括し、新型コロナウイルス感染症影響下での今後の活動方針について検討した。

1. 「農薬について知ろう」Webサイト
2. 「残留農薬分析 知っておきたい問答あれこれ」書籍

出版

3. 講師派遣
4. 農薬残留分析セミナー
5. 学会ホームページ運営
6. その他

令和3年度 日本農薬学会賞の決定

学会賞受賞者選考委員会で選考された奨励賞、業績賞（研究・技術）の授賞候補者について、評議員（会長、副会長を含む）による無記名投票を行った結果、受賞者が下記の通り決定された。また、編集委員会から推薦され学会賞受賞者選考委員会で選考された論文賞候補についても評議員（会長、副会長を含む）による無記名投票を行い、受賞論文が決定された。

奨励賞

- ・安部 潤：薬物動態的アプローチによる農薬のヒト安全性評価に関する研究（住友化学株式会社 生物環境科学研究所）
- ・伊藤虹児：放線菌PD653株によるヘキサクロロベンゼンおよびペンタクロロフェノールの好氣的脱塩素機構に関する研究（農研機構 農業環境変動研究センター）

業績賞（研究）

- ・石原 亨：イネ科植物における二次代謝が関与した防御機構の解明（鳥取大学 農学部 生命環境農学科）
- ・仲下英雄：植物生理機能を制御する農薬の作用機構に関する研究（福井県立大学 生物資源学部 分子生物学研究領域）
- ・番場伸一：農薬の標的分子同定と薬剤抵抗性機構に関する計算科学的研究（三井化学アグロ株式会社 研究開発本部）

業績賞（技術）

- ・大竹貴光、鎗田 孝：国際基準に対応した認証標準物質の開発と技能試験の実施（産業技術総合研究所 計量標準総合センター、茨城大学 農学部）

論文賞

- ・Hideyuki Inui, Nonoka Katte, Junya Goto and Aya Iwabuchi: "High temperatures promote the uptake of hydrophobic pollutants by *Cucurbita pepo* via altered gene expression levels of major latex-like proteins", 45, 75-80 (2020)

会 員 動 静

（令和2年9月1日～令和3年1月31日）

入会

正会員

伊藤 史朗	北口 大毅	長谷川久和	胡 文倩
老木紗予子	梶 基浩	栗田 和典	小木曾真樹
井原 章吾	有澤美枝子	中村 新	

学生会員

森 湖太郎 岡本 一央 吉川 拓馬 早川 優介
森 聡一朗 NGUYEN, Hai Doan 倉田 堯直
山村 円香 末永真友菜 津守千亜希 松川 奈央
川田紘次郎 大沼 彩香 石川 萌 小川 岳斗
(受付順)

退会

終身会員

和田 拓雄 宮田 正 齋藤 哲夫

正会員

三枝 弘和 岩佐 孝男 柿内 俊輔 永田 俊浩
大嶋 明久 杉山 民二 梅田 公利 山田 貞二
吉川 幸宏 清遠亜沙子 岡部 亮 石丸 梢
松田 英樹 山根 泉 中島 優子 市橋 葵
藤井 哲伸 平島 明法 腰岡 政二 前野真一郎
三宅 秀芳 村岡 悦子 西澤陽一郎 坂元 法久
鈴木 健 田中 利治 和田 健夫 渡邊 幸喜
山中 龍治 横内 敬司 熊丸 昌也 小林 陽子
永富 康司 種 和彦 境 潤悦 新井 宏和
高石日出男 山本 敦司 武内 晴香 古屋 昌義
阿久津和彦 内田 幸生 白水健太郎 辻村 和也
徳本 健人 原田 恭輔 高松 亮太 富永 純司
瀨本恵実里 越智ゆかり 杉浦 正昭

学生会員

山藤 康平 伊藤 伸也 白方陽菜子 後藤 裕樹
佐野恵梨花 薬師 葉 竹原 千恵 辻 諄人
松尾 匠馬

団体会員

東京農業大学 図書館 雑誌担当 積水化学工業株式会社

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催，共催，協賛，後援する会議等

2021年

3月

8日(月)～10日(水) 日本農薬学会第46回大会

主 催：日本農薬学会
会 場：オンライン開催 (ライブおよびオンデマンド配信)
U R L：https://service.dynacom.jp/acpartner/meeting/home/
pssj/taikai46/

10日(水) 第19回農薬バイオサイエンス研究会 (第46回大会と共催)

主 催：日本農薬学会，農薬バイオサイエンス研究会
会 場：オンライン開催 (オンデマンド)
U R L：http://pssj2.jp/congresses/46/taikai46.html

23日(火)～26日(金) 第65回日本応用動物昆虫学会大会

主 催：日本応用動物昆虫学会
会 場：オンライン開催
U R L：https://confit.atlas.jp/odokon65

17日(水)～19日(金) 令和3年度日本植物病理学会大会

主 催：日本植物病理学会
会 場：オンライン開催
U R L：https://www.knt-c.co.jp/ec/2021/pssj/

23日(火) 第30回 殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム

主 催：日本植物病理学会
会 場：オンライン開催
U R L：http://www.taiseikin.jp/symposium/

4月

16日(金) scChemRISC 2021年度年会

主 催：幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム
会 場：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール
[〒606-8501京都市左京区吉田本町]
U R L：https://scchemrisc.stemcellinformatics.org/nenkai
2021.html

11月

18日(木)～19日(金) 第44回農薬残留分析研究会

主 催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会
会 場：ホテルフジタ福井 [〒910-0005福井県福井市大手
3丁目12-20]
エクスカッション：恐竜博物館 (予定)
U R L：http://pssj2.jp/committee/residue.html

詳細未定 第20回農薬バイオサイエンス研究会 (植物化学研究会と共催)

主 催：植物化学研究会，日本農薬学会，農薬バイオサイエ
ンス研究会
U R L：http://pssj2.jp/committee/bioscience.html

日本農薬学会第46回大会の案内（追加）

本大会における講演のオンデマンド視聴期間は、3月6日(土) 正午～10日(水) 午後5時に設定しております。オンデマンド視聴対象の講演は、特別講演、受賞者講演（令和2年度および令和3年度）、シンポジウム1、シンポジウム2、一般講演、企業セミナー、技術士セミナーです。

一般講演の録画ビデオ（MP4形式）は、2月下旬～3月5日の間に大会MyPageからアップロードしてください。

ライブ配信による質疑応答のスケジュールは以下の予定です。

	10:00-11:00	11:05-11:55	12:00-13:00	13:05-13:55	14:05-14:55	15:05-15:55	16:00-17:00
3/9 (火)		シンポジウム1	農薬工業会	一般講演 1-1 A, B, C会場	一般講演 1-2 A, B, C会場	一般講演 1-3 A, B, C会場	日本チャールス・リバー
3/10 (水)	LANDIS International エルエスビー	シンポジウム2	キシダ化学		一般講演 2-1 A, B, C会場	一般講演 2-2 A, B, C会場	Pharmaron UK ビオブリッジ

シンポジウム2および技術士セミナーについての追加情報を以下に掲載します。

シンポジウム2（農薬バイオサイエンス研究会との共催）

「生物と化学のはざま」オンライン質疑応答：3月10日(水) 午前11時～12時 オーガナイザー：野下浩二・小松 健

「ストリゴラクトンの立体と構造の多様性」

○上野琴巳¹、滝川浩郷²、杉本幸裕³（¹鳥取大学農学部、²東京大学大学院農学生命科学研究科、³神戸大学大学院農学研究科）

「昆虫のトレハロース輸送体は薬剤標的となり得るか？」

菊田真吾（茨城大学農学部）

「植物ウイルスの総合防除に向けた基礎研究」

山次康幸（東京大学大学院農学生命科学研究科）

「結晶スポンジ法による機能性分子の構造解析」

谷口慈将（キリンホールディングス株式会社）

「機能性ナノ孔を有する結晶材料」

佐藤宗太（東京大学大学院工学系研究科）

「スマートデザインによる高性能標的結合ペプチドの創製」

門之園哲哉（東京工業大学生命理工学院）

技術士セミナー

日本農薬学会では、技術士（農業部門・植物保護）の取得支援として大会時に「技術士セミナー」を開催し、試験の概要や対策のほか、合格者による技術士資格取得の動機やその後のご活躍などの情報を提供してきました。第46回大会では、技術士資格取得の動機や試験対策など、お二人の方から体験談を紹介頂きます。情報は大会期間中オンデマンドで配信されますので、技術士に興味をお持ちの方や実際に資格取得を目指す方など多くの方に視聴頂ければと思います。

主催：日本農薬学会

日時：令和3年3月6日(土)～10日(水)（視聴期間）

方法：日本農薬学会第46回大会期間中 オンデマンド配信

内容：

(1) 合格者体験談：久保周子氏（千葉県農林総合研究センター）

(2) 合格者体験談：浜崎健司氏（岐阜県病害虫防除所）

日本農薬学会第46回大会組織委員会

住所：〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

東京農工大学大学院 農学研究院

担当：有江 力, E-mail: arie@cc.tuat.ac.jp, TEL: 042-367-5692

森山裕充, E-mail: hmori714@cc.tuat.ac.jp

北野克和, E-mail: kitayo@cc.tuat.ac.jp

「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」のご案内

日本農薬学会では、精度の高い残留農薬分析を実施する上で特に配慮すべき事項を「Q & A」形式に取りまとめた「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」を出版しています。2003年に初版を発行以来、好評を博して改訂を重ねてまいりましたが、最新の改訂4版では、前3版出版以降の農薬登録制度の動向を反映させ、最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで、初学者の方にも、より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理しました。また、携行性を高めるために軽量化を図りました。前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として、さらに、食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても、農薬の規制についての理解の一助となるようお役立て頂けると幸いです。定価は3,000円です(送料別)。

購入申込み方法：

メールにて、以下の日本農薬学会事務局に氏名、所属、メールアドレス、電話番号、送付先住所、購入冊数等をご連絡下さい。また、メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい。折り返し請求書(送料を含む)を同封し発送しますので、振込みをお願いします。詳細は、学会ホームページもご参照ください。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内

MAIL: nouyaku@pssj2.jp

学会HP: http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html

※平成30年の農薬取締法改正に伴い更新が必要となった記事を新旧対照表として取りまとめました(令和2年4月1日適用分対応)。学会ホームページ上(http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html)で公開していますので、ご参照ください。

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@pssj2.jp